

おかえり、芭蕉さん

ふるさと伊賀へ。

生誕
380年
記念

◆松尾芭蕉翁生誕380年

俳聖・松尾芭蕉は1644年に伊賀国(現伊賀市)に生まれました。今年、生誕380年の記念の年にあたり、これを機に、芭蕉翁の偉大さや尊厳を再確認し、文芸に対する姿勢や生き方を学び、広く世間へ発信していくため、今年1年間を期間として「芭蕉翁生誕380年記

念事業を進めていきます。

◆芭蕉さんってどんな人？

ふるさと伊賀では、芭蕉翁を今でも「芭蕉さん」と親しみをこめて呼んでいます。

芭蕉さんは、多くの素晴らしい作品を残し、俳句を芸術の域まで高めたこと、有名な「奥の細道」の旅も含め、生涯を旅人として過ごしたこ

とで知られています。

現代を生きる私たちは、自然を愛し、互いの違いを尊重する芭蕉さんの姿勢から、改めて自然環境や平和な世界を守る大切さに気付かされます。

◆おかえり、芭蕉さん ふるさと伊賀へ。

全国的には芭蕉さんのふるさとが伊賀であることは、

あまり広く知られていません。そこで、「おかえり、芭蕉さん ふるさと伊賀へ。」を芭蕉翁生誕380年記念事業のキャッチフレーズとして、多くの人に伊賀が芭蕉さんのふるさとであることを伝え、あわせて伊賀の魅力発信していきます。

◆芭蕉翁生誕380年記念事業

19団体で構成する「芭蕉翁生誕380年記念事業実行委員会」では、今年1年を通じて、さまざまなイベントや企画を行っていきます。また、記念事業を盛り上げ、市民の皆さんと一体となって取り組むため、協賛事業を募集しています。

第2期募集として、広報いが2月号で4月から12月にかけて実施される協賛事業を募集しますので、ぜひご応募ください。



俳聖殿の中の芭蕉くん



おかえり、芭蕉さん
ふるさと伊賀へ。

今回は、各地を旅した芭蕉さんが伊賀へ帰ってきたというストーリーになっています。



生誕370年記念のポスター(左)では、江戸(東京)から故郷である伊賀へ旅立つ芭蕉さんが描かれていました。

芭蕉翁生誕380年記念事業 オープニングイベント ※要申込

【とき】 1月28日(日) 午後2時~3時30分

【ところ】 伊賀市文化会館 さまざまホール

【内容】

- 芭蕉パフォーマンス 福北わかづ
- 岡本市長、アナウンサーによる『奥の細道』朗読
- コーラス「芭蕉」 指揮者 波多野 均
コーラス 上野合唱団
ピアノ 橋本 宏美
- 講談「松尾芭蕉」 講談師 玉田玉秀斎

【申込期間】 1月4日(木)~22日(月)

【申込方法】 氏名・連絡先を文化振興課まで

芭蕉さんの
イントネーション
って？

おたのしみ!!
伊賀名産品の
抽選会あり

物産
販売も!

芭蕉さんの
生涯を講談で
聞きたい!



芭蕉翁記念館・伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎 合同企画展

芭蕉翁生誕380年を記念して、芭蕉翁記念館と伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎が合同で、芭蕉の俳句と種月明作品を共に鑑賞する企画展を開催します。



◆俳句が先か、絵が先か

【とき】 1月6日(土)~3月10日(日)

午前8時30分~午後5時

(入館は午後4時30分まで)

【ところ】 芭蕉翁記念館

【料金】 一般300円

◆絵が先か、俳句が先か

【とき】 1月13日(土)~2月18日(日)

午前10時~午後4時30分

(入館は午後4時まで) 火曜日休館

【ところ】 青山讃頌舎

【料金】 一般300円(高校生以下無料)

【問い合わせ】 青山ホール ☎52-1109

◆記念座談会「俳句が先か、絵が先か」

※要予約

【とき】 1月14日(日) 午後1時30分~

【ところ】 ハイピア伊賀5階 大研修室

【講師】 芭蕉翁記念館 学芸員 高井 悠子
青山讃頌舎 学芸員 種月 大介

【定員】 100人

【申込先・問い合わせ】

青山ホール ☎52-1109

◆コラボ・ギャラリートーク ※予約不要

【とき】 1月21日(日) 午後1時30分~

【ところ】 青山讃頌舎 展示室

【とき】 2月10日(土) 午後1時30分~

【ところ】 芭蕉翁記念館

※要入館料

2館目割引券を各施設でプレゼントします。

【申込先・問い合わせ】 文化振興課(芭蕉翁記念館内) ☎22-9621 FAX 22-9619 ✉bunka@city.iga.lg.jp

